

平成 28 年度 学校法人東播学院 東播幼稚園 学校評価公表シート

1 東播幼稚園の教育目標

「しなやかな心と体で個性豊かに遊び込める子どもに」

元気いっぱい遊べる子

考えて行動する子

思いやりのある子

やりとげる子

待てる子

2 本年度に定めた重点的に取り組む学校評価の具体的な目標

- ・ 独自の幼稚園教育課程、指導計画に基づき、保育を行う。
- ・ 自己評価を実施し、教師自らが客観的に保育や園の環境を見る目を養い、主体的に教育内容の改善に取り組めるようにする

3 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果
教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園の教育理念、目標、方針は職員に周知徹底され、教育活動に生かされている。 ・ 自園の教育理念、教育課程に基づき、保育ができた。
教員の資質・良識	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの気持ちを汲み取り、適切な言葉がけができるよう配慮し、保護者も気軽に相談できるよう信頼関係を築いた。 ・ 基本的な生活習慣を身につけるための指導や子どもが自分で考え行動できるような援助が行えた。
研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの発達や指導法についての研修を行っている。 ・ 個々の子どもの状況について職員全体が認識できるような機会を作ることで共通理解できた。
家庭支援・連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の行事や取り組みについて、意図や子どもの育ち、大切さを感じてもらうように行っているが、たよりに載せる等、より具体的に伝えていくことができた。 ・ 家庭への連絡や意思疎通を図る努力を行い、いつでも相談ができるような体制作りを行っている。
地域との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 散歩や交流会等を通じて、あいさつを交わす等、地域の人との関わりをもち、社会の出来事や自分の生活を支えている人々にも興味関心がもてるように指導できた。 ・ 園庭解放、子育て教室など地域の方が利用できる機会を提供できた。
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な環境に親しみ、自発的に子どもが活動できるような環境が整備されている。 ・ 異文化を受け入れたり、生活の中で数量や、文字などに関心を持ったりできるような工夫ができた。また遊びや活動が発展するような工夫や配慮がほぼできた。 ・ 畑や果樹園を生かし、収穫の喜びを体験できた。
安全管理・衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全点検や災害に備えた避難訓練を定期的実施した。 ・ 園舎での新たな危険に対し、遊具の補修などを行った。 ・ アレルギー等食に関する会議を行い、共通理解を図ることができた。
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事等を通して、日本の伝統文化にまつわる食を体験できるよう工夫できた。 ・ 食に対する意識を持たせ、栄養について指導できた。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教諭一人ひとりが自己評価を実施することで、客観的に園全体をみつめ、今後の課題をみつけることにつながった。

5 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
環境構成	遊具の適切な使い方の指導を徹底していくことと危険な箇所がないか常に意識をすることで、事故を未然に防ぐ。
新制度への移行	認定子ども園や施設型給付への検討を行うとともに、保護者に理解が得られるように情報を発信していきたい。

6 学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

7 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められる。

8 情報の公開

本園ホームページに基本的な情報を公開している。 アドレス <http://www.toban.ed.jp>